

令和 6 年度 第 3 回公民館運営審議会
議事録（議事要旨）

1 開催日時 令和 6 年 12 月 13 日（金） 午後 2 時開始

2 開催場所 高洲公民館 研修室

3 出席者

〔委 員〕

大友委員（委員長）、佐々木委員、坂本委員、長島委員、林委員、永田委員、梅本委員、
阿部委員（欠席者：4 名）

〔事務局〕

高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民
館長、日の出公民館長

高洲公民館職員 2 名

4 傍聴者 なし

5 議 事

（1）報告事項

公民館主催事業実施状況（4 月～9 月）

（2）審議事項

公民館主催事業開催計画（1 月～3 月）

（3）その他

6 会議経過

開 会

（1）報告事項

公民館主催事業実施状況（4 月～9 月）について、各委員からの意見や質問の概要は以下のとおり。

- | | |
|-------|---|
| 委 員 | 美浜公民館「園芸ボランティア」事業の対象が女性となっている理由を伺う。 |
| 事 務 局 | 当該資料の区分は社会教育調査に沿っており、最も多い参加者層を選択した。現状の参加者は女性のみだが、特段女性に限定しているものではない。 |
| 委 員 | 募集の際も、女性に限定した告知は行っていない認識でよろしいか。 |
| 事 務 局 | 募集は行っておらず、継続的にボランティアで活動いただいている。参加者は、ボランティアのネットワークで集っているものと認識している。 |
| 委 員 | 多様な講師を依頼しているようだが、依頼のきっかけや基準について伺う。 |
| 委 員 | 職員の情報交換もあるのだろうが、複数の施設で講師の重複が見られる。各施設のサークルに講師を依頼し、活動を地域に広げることも有効ではないか。 |
| 委 員 | 参加者数が伸び悩んでいる事業も見受けられる。講師の団体が他の施設に出向いて活動するなど、施設を超えた交流も検討すべきではないか。 |
| 事 務 局 | 過去は講師名簿を作成していた時期もあると伺っているが、近年は職員のネットワークで講師を依頼し、情報を施設間で共有する方法が主流である。現在もサークルに講師を依頼しているが、さらなる連携強化に努めていきたい。 |

(2) 審議事項

公民館主催事業（1月～3月）開催計画について、事務局から資料に基づいて説明をした後、各委員からなされた意見や質問の概要は以下のとおり。

- 委員 市の凧揚げ大会の実行委員会を務めているが、子どもたちの活気があふれ、良い行事だと感じている。関連して日の出公民館で「親子たこ作り教室」が実施されるが、他の施設でも同様の機会を提供できないか。
- 事務局 講師を務める団体から、参加者を絞らないと指導が難しいとの意見があった。
- 委員 老人クラブでも同様の取組みを実施するが、講師を「日本の凧の会」に依頼している。公民館でも、こうした別の講師への依頼を検討されたい。
- 委員 小学校の学習発表会で、手話の教室が実施されていた。公民館でも手話サークルを活用した主催事業を実施できないか。
- 事務局 先日の地域交流会で手話サークルが体験教室を実施し、子どもを中心に盛況であった。今後もサークルと連携し、取組みについて検討したい。
- 委員 新たに実施する主催事業が分かるよう、資料に表記をお願いしたい。当代島公民館「春休み子ども科学教室」について、材料費は徴収しないのか。
- 事務局 材料費は徴収予定だが、金額が未確定のため資料には表記していない。
- 委員 スマホ講座を継続的に実施しているが、参加者の技術は向上しているか伺う。
- 事務局 主催事業後の参加者の動向を把握しているわけではないが、技術向上につながったとの意見を伺っている。
- 委員 新たな公民館を建設するようだが、場所等の概要について伺う。
- 事務局 舞浜地区に公民館を建設し、令和9年度に開館の予定となっている。
- 委員長 1月から3月の主催事業が告知される際は、今回意見のあった事項も踏まえた内容となるのか。
- 事務局 お見込みのとおりである。
- 委員 夏休みに学習スペースとして会議室の開放があったが、引き続き学習場所の積極的な提供や、子どもたちの見守りをお願いしたい。現在はキッズビューを通して公民館の取組みを確認することができる。各館長が委員となっているコミュニティスクールの関係も踏まえ、今後も子どもたちに積極的な学びの場を提供いただけることを期待している。

(3) その他

次回の令和6年度第4回公民館運営審議会は、令和6年3月に高洲公民館で実施することを確認し閉会。

(閉会：午後3時)